



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月2日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 名古屋銀行

コード番号 8522 URL <https://www.meigin.com/>

代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 藤原 一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 近藤 和 TEL 052-951-5911

四半期報告書提出予定日 2023年8月3日 配当支払開始予定日 ー

特定取引勘定設置の有無 無

四半期決算補足説明資料作成の有無：有 決算補足説明資料は決算短信に添付しております。

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	22,100	14.1	4,108	16.5	2,945	23.2
2023年3月期第1四半期	19,376	7.6	3,525	8.2	2,391	△5.9

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 14,940百万円 (ー%) 2023年3月期第1四半期 △5,686百万円 (ー%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	172.53	ー
2023年3月期第1四半期	137.24	136.88

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	5,247,636	258,219	4.9
2023年3月期	5,098,245	245,329	4.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 258,219百万円 2023年3月期 245,329百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	ー	60.00	ー	60.00	120.00
2024年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2024年3月期（予想）	ー	60.00	ー	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	40,300	1.2	5,300	△18.1	3,900	△18.7	225.75
通期	80,900	1.4	12,000	4.4	8,500	1.5	492.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 6 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 有

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 6 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	17,355,487株	2023年3月期	17,355,487株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	380,245株	2023年3月期	79,908株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	17,072,561株	2023年3月期1Q	17,423,295株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

目次		頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報		2
(1) 経営成績に関する説明		2
(2) 財政状態に関する説明		2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明		2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記		3
(1) 四半期連結貸借対照表		3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書		4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項		6
(継続企業の前提に関する注記)		6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)		6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)		6
(会計上の見積りの変更)		6
3. 四半期決算補足説明資料		7
(1) 損益の状況（単体）		7
(2) リスク管理債権及び金融再生法開示債権の開示（単体）		8
(3) 自己資本比率（国際統一基準）（単体・連結）		9
(4) 時価のある有価証券の評価損益（単体）		10
(5) 預金等・貸出金の残高（単体）		11
(参考) 預り資産残高（単体）		11
(6) 単体決算要約		12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策の緩和による経済活動の正常化に伴い、内需を中心に景気は緩やかな回復基調を維持しました。しかし、海外においては、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化及び近隣諸国における地政学的リスク並びにインフレなどによる景気減速リスクは依然として高く、さらに日本国内においても、急速な円安による経済への悪影響や物価高が懸念材料となるなど、景気の先行きは依然として不透明であります。

このような経済状況下、当行の連結ベースでの経営成績は以下のとおりとなりました。

グループ全体の経常収益は、有価証券利息配当金及び株式等売却益等が増加したことを主な要因として、前年同期に比べ2,724百万円増加し22,100百万円となりました。経常費用は、国債等債券売却損等が減少したものの、貸倒引当金が戻し入れから、繰り入れとなったこと及び債券貸借取引支払利息が増加したことを主な要因として、前年同期に比べ2,141百万円増加し17,992百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期に比べ583百万円増加し4,108百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ554百万円増加し2,945百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

預金の当第1四半期連結会計期間末残高につきましては、前連結会計年度末に比べ、132,608百万円増加し4,414,327百万円となりました。預金の増加のうち、個人預金につきましては、32,475百万円の増加となりました。

貸出金の当第1四半期連結会計期間末残高につきましては、地元企業の資金需要や住宅ローンを中心とした個人向け融資等、各種資金ニーズに積極的に対応した結果により前連結会計年度末に比べ、13,557百万円増加し3,639,846百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表しました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
現金預け金	451,935	536,017
コールローン及び買入手形	—	2,174
商品有価証券	—	0
有価証券	876,724	927,691
貸出金	3,626,289	3,639,846
外国為替	5,700	3,064
リース債権及びリース投資資産	36,646	36,735
その他資産	51,056	53,631
有形固定資産	36,976	36,705
無形固定資産	2,229	2,140
退職給付に係る資産	14,098	14,160
繰延税金資産	739	737
支払承諾見返	9,949	10,042
貸倒引当金	△14,099	△15,312
資産の部合計	5,098,245	5,247,636
負債の部		
預金	4,281,718	4,414,327
譲渡性預金	71,850	87,050
コールマネー及び売渡手形	6,033	8,275
債券貸借取引受入担保金	76,200	90,287
借入金	321,067	284,811
外国為替	304	167
社債	20,000	20,000
信託勘定借	1,601	1,682
その他負債	43,457	48,114
賞与引当金	1,135	300
役員賞与引当金	38	10
退職給付に係る負債	2,899	2,696
役員退職慰労引当金	25	30
睡眠預金払戻損失引当金	88	69
偶発損失引当金	1,249	1,390
利息返還損失引当金	27	27
繰延税金負債	12,500	17,365
再評価に係る繰延税金負債	2,766	2,766
支払承諾	9,949	10,042
負債の部合計	4,852,915	4,989,416
純資産の部		
資本金	25,090	25,090
資本剰余金	21,241	21,241
利益剰余金	159,190	161,099
自己株式	△232	△1,246
株主資本合計	205,290	206,185
その他有価証券評価差額金	34,923	47,077
土地再評価差額金	3,867	3,867
退職給付に係る調整累計額	1,247	1,089
その他の包括利益累計額合計	40,038	52,033
純資産の部合計	245,329	258,219
負債及び純資産の部合計	5,098,245	5,247,636

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
経常収益	19,376	22,100
資金運用収益	9,501	11,484
(うち貸出金利息)	6,607	7,037
(うち有価証券利息配当金)	2,522	4,055
信託報酬	16	11
役務取引等収益	2,902	2,880
その他業務収益	5,701	6,043
その他経常収益	1,254	1,681
経常費用	15,850	17,992
資金調達費用	506	2,651
(うち預金利息)	135	363
役務取引等費用	895	981
その他業務費用	6,280	5,170
営業経費	7,850	7,696
その他経常費用	317	1,491
経常利益	3,525	4,108
特別利益	0	2
固定資産処分益	0	2
特別損失	0	0
固定資産処分損	0	0
税金等調整前四半期純利益	3,525	4,111
法人税等	1,133	1,165
四半期純利益	2,391	2,945
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,391	2,945

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	2,391	2,945
その他の包括利益	△8,077	11,995
その他有価証券評価差額金	△7,917	12,153
繰延ヘッジ損益	0	—
退職給付に係る調整額	△160	△158
四半期包括利益	△5,686	14,940
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,686	14,940

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の処理)

当行及び連結子会社の税金費用は、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

(会計上の見積りの変更)

退職給付に係る会計処理において、数理計算上の差異及び過去勤務費用の損益処理年数は、従来、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(13年)で損益処理していましたが、平均残存勤務期間がこれを下回ったため、当第1四半期連結会計期間より損益処理年数を主として12年に変更しております。

この結果、従来の損益処理年数によった場合に比べ、当第1四半期連結累計期間の経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、96百万円増加しております。

3. 四半期決算補足説明資料

(1) 損益の状況 (単体)

当第1四半期の経常収益は、168億円 (通期予想比29.2%) となりました。
 経常利益は45億円、四半期純利益は35億円となりました。
 与信関連費用は12億円となりました。

【単体】

(単位：百万円)

(単位：百万円)

	2023年3月期 第1四半期 (3ヵ月間) (A)	2024年3月期 第1四半期 (3ヵ月間) (B)	比較 (B) - (A)	2024年3月期 第2四半期 累計期間予想 (6ヵ月間)	2024年3月期 通期予想 (12ヵ月間)
経常収益	14,758	16,877	2,118	28,900	57,700
業務粗利益 ①	10,448	11,363	915		
資金利益	9,985	9,628	△357		
役務取引等利益	1,980	1,866	△113		
その他業務利益	△1,518	△132	1,385		
(うち国債等債券損益) ②	(△1,411)	(△103)	(1,308)		
経費(除く臨時処理分) (△) ③	7,461	7,309	△152		
人件費	4,314	4,188	△125		
物件費	2,637	2,660	22		
税金	509	460	△49		
実質業務純益 (①-③) ④	2,986	4,054	1,067		
コア業務純益 (④-②)	4,398	4,157	△241		
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)	4,398	4,295	△103		
一般貸倒引当金繰入額 (△) ⑤	-	△82	△82		
業務純益	2,986	4,136	1,149		
臨時損益	1,197	450	△747		
不良債権処理額 (△) ⑥	82	1,321	1,238		
貸倒引当金戻入益 ⑦	285	-	△285		
償却債権取立益	10	1	△8		
株式等関係損益	915	1,590	674		
その他臨時損益	68	178	110		
経常利益	4,184	4,587	402	5,300	11,300
特別損益	△0	0	0		
税引前四半期純利益	4,184	4,587	403		
法人税等 (△)	1,027	1,081	53		
四半期純利益	3,156	3,505	349	4,100	8,300
与信関連費用 (⑤+⑥-⑦)	△202	1,238	1,441		

(2) リスク管理債権及び金融再生法開示債権の開示 (単体)

リスク管理債権及び金融再生法開示債権の不良債権額は、2022年6月末比129億円増加して919億円となり、対象債権合計比は、2.48%となりました。なお、2023年3月末比では、41億円増加しております。

【単体】

(単位：百万円)

(単位：百万円)

	2022年6月末 (A)	2023年6月末 (B)	比較 (B) - (A)	(参考) 2023年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,098	6,224	1,125	6,867
危険債権	62,290	73,547	11,257	69,164
要管理債権	11,528	12,133	605	11,768
三月以上延滞債権	2,679	642	△2,037	333
貸出条件緩和債権	8,848	11,491	2,643	11,435
合計	78,916	91,905	12,988	87,800
対象債権合計	3,420,533	3,705,285	284,751	3,687,522
対象債権合計比 (%)	2.31	2.48	0.17	2.38

(3) 自己資本比率 (国際統一基準) (単体・連結)

「第3の柱 (市場規律)」に基づく「自己資本の構成に関する開示事項」並びに「レバレッジ比率に関する開示事項」及び「流動性カバレッジ比率に関する開示事項」につきましては当行ホームページ(<https://www.meigin.com/>)に掲載しております。

【単体】

(単位：億円)

〔速報値〕	2023年3月末	2023年6月末
1. 単体総自己資本比率 (4/7)	11.70%	12.28%
2. 単体Tier1比率 (5/7)	9.65%	10.25%
3. 単体普通株式等Tier1比率 (6/7)	9.65%	10.25%
4. 単体における総自己資本の額	2,709	2,853
5. 単体におけるTier1資本の額	2,235	2,380
6. 単体における普通株式等Tier1資本の額	2,235	2,380
7. リスク・アセットの額	23,150	23,226
8. 単体総所要自己資本額 (7×8%)	1,852	1,858

【連結】

(単位：億円)

〔速報値〕	2023年3月末	2023年6月末
1. 連結総自己資本比率 (4/7)	11.91%	12.48%
2. 連結Tier1比率 (5/7)	9.88%	10.45%
3. 連結普通株式等Tier1比率 (6/7)	9.88%	10.45%
4. 連結における総自己資本の額	2,809	2,948
5. 連結におけるTier1資本の額	2,329	2,469
6. 連結における普通株式等Tier1資本の額	2,329	2,469
7. リスク・アセットの額	23,578	23,622
8. 連結総所要自己資本額 (7×8%)	1,886	1,889

(注) 自己資本比率の算出にあたっては、以下の手法を採用しております。

- ・信用リスクに関する手法：標準的手法
- ・オペレーショナル・リスクに関する手法：粗利益配分手法

小数点第2位未満を切り捨てにて表示しております。

(4) 時価のある有価証券の評価損益 (単体)

その他有価証券の評価損益は、2022年6月末比70億円増加して、666億円の評価益となりました。

【単体】

(単位：百万円)

(単位：百万円)

	2022年6月末			2023年6月末			(参考) 2023年3月末		
	評価損益			評価損益			評価損益		
		評価益	評価損		評価益	評価損		評価益	評価損
満期保有目的	—	—	—	△682	—	682	△237	—	237
債券	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	△682	—	682	△237	—	237
その他有価証券	59,588	81,369	21,780	66,677	91,670	24,993	49,596	72,822	23,226
株式	80,226	80,956	729	90,624	90,779	154	71,595	71,990	395
債券	△5,999	132	6,132	△6,999	429	7,428	△8,763	314	9,077
その他	△14,637	280	14,918	△16,948	461	17,409	△13,236	517	13,754

(注) 「評価損益」は、「満期保有目的」については貸借対照表計上額と時価の差額を計上し、「その他有価証券」については時価評価しておりますので貸借対照表計上額と取得原価の差額を計上しております。

(5) 預金等・貸出金の残高 (単体)

預金等残高 (預金+譲渡性預金) は、2022年6月末比3,124億円増加し、4兆5,110億円となりました。そのうち個人預金は、2022年6月末比550億円増加し、2兆6,241億円となりました。
 貸出金は、2022年6月末比2,766億円増加し、3兆6,488億円となりました。そのうち消費者ローンは2022年6月末比797億円増加し、1兆1,603億円となりました。

【単 体】

(単位：百万円)

(単位：百万円)

	2022年6月末 (A)	2023年6月末 (B)	比 較 (B) - (A)	(参考) 2023年3月末
預金等	4,198,586	4,511,006	312,419	4,362,105
うち個人預金	2,569,135	2,624,166	55,031	2,591,691
貸出金	3,372,195	3,648,885	276,689	3,632,448
うち消費者ローン	1,080,621	1,160,349	79,727	1,142,022

(注) 預金等 = 預金 + 譲渡性預金

(参考) 預り資産残高 (単体)

【単 体】

(単位：百万円)

(単位：百万円)

	2022年6月末 (A)	2023年6月末 (B)	比 較 (B) - (A)	(参考) 2023年3月末
投資信託	125,160	139,270	14,110	132,663
公共債	16,651	15,117	△ 1,534	15,456
保険商品	335,764	358,479	22,714	353,368
外貨預金	41,545	37,948	△ 3,597	35,469
合計	519,121	550,814	31,692	536,957

(6) 単体決算要約

※()は2022年6月期からの増減

<収益>		<費用>		<利益>	
資金運用収益 122億円(17億円増) 事業性貸出・住宅ローン・有価証券等による利息収益	—	資金調達費用 26億円(21億円増) 各種預金に対して支払う利息等	=	①資金利益 96億円(3億円減)	
					+
役務取引等収益 29億円(0億円減) 投資信託の販売や振込みなど各種サービスによる受取手数料	—	役務取引等費用 10億円(0億円増) 支払為替手数料等銀行が支払う手数料	=	②役務取引等利益 18億円(1億円減)	
					+
その他業務収益 0億円(0億円減) 外国為替売買益や債券の売却益等	—	その他業務費用 1億円(14億円減) 国債等債券の売却損等	=	③その他業務利益 △1億円(13億円増) うち国債等債券損益 △1億円(13億円増)	
				=	
業務粗利益 113億円(9億円増) ①資金利益+②役務取引等利益+③その他業務利益	—	一般貸倒引当金繰入額△0億円(0億円減) 経費(除く臨時処理分) 73億円(1億円減)	=	業務純益 41億円(11億円増)	
				=	
業務純益 41億円(11億円増)	+	臨時収益 16億円(4億円増) 株式等売却益、貸倒引当金戻入益、償却債権取立益等	—	臨時費用 12億円(11億円増) 不良債権処理及び株式等償却に関する費用等	=
				=	
業務純益 41億円(11億円増)				経常利益 45億円(4億円増)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)	+	特別利益 0億円(0億円増) 固定資産処分益等	—	特別損失 一億円(0億円減) 固定資産処分損、減損損失等	=
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別利益 0億円(0億円増)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経常利益 45億円(4億円増)				特別損失 一億円(0億円減)	
				=	
経					